

本公募に関するQ&A (Ver.1)

「太陽光発電導入拡大技術開発／研究開発項目（Ⅳ）循環型社会構築リサイクル技術開発」（助成事業）

資料名	No	該当項目・内容	問	答
公募要領	1-1	1. 事業内容及び公募対象	各研究開発項目で採択予定件数は決まっているか。	採択予定件数は決まっておりません。全体予算の中で調整のうえ、決定します。
	1-2	1. 事業内容及び公募対象	共同提案の場合の事業規模はどの程度か。	共同提案の場合は、共同者の合算値を1提案として扱います。予算上限額は各公募要領を参照ください。
	1-3	1. 事業内容及び公募対象	提示された予算規模を超過して提案することは可能か。	超過する提案も受け付けますが、採択審査において必要性がわかるようご提案ください。必要性が十分でないと判断された場合、採択となった後に予算減額を調整させていただきます。
	1-4	1. 事業内容及び公募対象	事業期間は5年より短くても良いのか。5年より短い場合でも事業規模および助成率は同じなのか。	5年より短い期間で問題ありません。その場合も事業規模および助成率に変更ありません。
	1-5	1. 事業内容及び公募対象	ステージゲートの審査基準は、中間目標未達の場合には継続否となるのか。	ステージゲート審査では総合的に勘案して判断します。
	1-6	1-(1)事業内容	①②についてすべての開発を行わないといけないのか。	①、②それぞれで独立したテーマを前提にしており、部分提案可能です。
	1-7	1-(1)事業内容	中間目標の「要素技術」とは何か。	処理と装置化に係る基礎的な技術を想定しています。
	1-8	1-(1)事業内容	最終目標の「マテリアルリサイクル技術を確立」とは何か。	本事業全体の目標として、マテリアルリサイクルの実証プラントにおいて、新たな技術を盛り込むことを想定しています。
	1-9	1-(1)事業内容	経済合理性とは何か。	新たにシステムを導入する場合、一般に初期費用・ランニング費用及び導入メリット・デメリット等をトータルで比較検討します。経済合理性とは、システム導入前後で得られる利益を示します。
	2-1	2. 応募要件・実施要件	応募要件を満たすか、満たさないかの判断はどのように行うのか。	必要とされる書類が漏れなく提出されているか、提案書類の所定事項に抜け漏れなく的確に記入されているかNEDOでチェックします。提案書類で確認できない事項がある場合には、追加の問い合わせを行います。
	2-2	2. 応募要件・実施要件	外国企業・大学との提案は可能か。	応募要件として記載しているとおり、日本国内に研究開発拠点を有していることが必要です。
	2-3	2. 応募要件・実施要件	助成事業者の対象は企業のみか。	自己資金が必要ですが、大学等でも対象になります。
	3-1	3. 応募方法	提出期限はいつか。	2025年11月28日（金）正午アップロード完了です。この時点で必要とされる全ての資料・記入事項が充足していないと受付できません。懸念点がある場合は事前にご相談されることをお勧めします。（提案内容についてのご相談はお受けできません）
	3-2	3. 応募方法	提案書の再提出はできるのか。	再提出は可能です。差し替えて処理しますので、初回の申請受付番号を記入の上、Web入力フォームよりご提出ください。
	3-3	3. 応募方法	提案書記入内容をあらかじめ確認してもらえるか。	ご提案内容に関するコメントは致しかねますが、提案締め切り前にご提出いただければ、随時提出いただいた書類のチェックを行い、不備等があればご連絡します。
	3-3	3. 応募方法	共同提案の場合、事業者毎に提案書は必要か。	複数の提案者による共同提案の場合でも提案書は1通です。別添様式等で提案者毎・委託先事の作成を指示する書類もありますのでご注意ください。また、企業化計画書など共同提案者間で共有できない書類がある場合には、公募事務局まで提出方法をご相談ください。
	3-4	3. 応募方法	提案にあたり府省共通研究開発管理システム（e-Rad）への登録は全項目で必要か。	本公募では登録が必要となります。

本公募に関するQ&A (Ver.1)

「太陽光発電導入拡大技術開発／研究開発項目（Ⅳ）循環型社会構築リサイクル技術開発」（助成事業）

資料名	No	該当項目・内容	問	答
	4-1	4. 採択先の選定	選定スケジュールの詳細はいつわかるのか。	ご提案を締め切った後、受付完了連絡とともに、今後の見通しをご案内する予定です。
	4-2	4. 採択先の選定	審査はどのように行われるのか。	受付された資料を元に、外部有識者による「採択審査委員会」とその結果を元にNEDO内で実施する「契約・助成審査委員会」の2段階で実施者を決定します。
	4-3	4. 採択先の選定	説明会後の質問について、11/21（金）まではメールで問い合わせ可能とあるが、その後は受け付けないということか。	ご質問いただいた後、回答まで時間が掛かることもあるため、11月21日（金）までとさせていただきます。その後のご質問もお受けしますが、回答が提案締め切りに間に合わない可能性もあることをご承知おきください。
	4-4	4. 採択先の選定	採択後すぐに費用計上を行いたい事業開始のタイミングはいつ頃か。	採択となった場合、助成事業については、交付決定通知日（※）の費用から計上が可能です。 ※採択決定とともに交付申請書等の作成依頼を行います。交付申請書を提出いただき、内容に問題がないことが確認できたら、NEDOから交付決定の通知を行います。
	5-1	6. その他重要事項・留意事項	助成事業期間中に出した特許に関する収入が発生した場合対象となるのか。	助成事業の実施結果の企業化、産業財産権の譲渡または実施権の設定およびその他当該助成事業の実施結果の他への供与による収益が対象となります。収益納付額の算定については、「課題設定型産業技術開発費助成事業」事務処理マニュアルをご参照ください。
提案書	6-1	1. 実施計画の細目	アウトプット目標、アウトカム目標とは。	それぞれの定義は以下のとおりです。本事業におけるアウトプット目標及びアウトカム目標は基本計画に記載しておりますので、それに沿った内容で設定してください。 アウトプット目標：研究開発活動の成果物。 アウトカム目標：研究開発活動自体やそのアウトプットによって、研究開発を実施または推進する主体が意図する範囲でもたらされる効果・効用。
	6-2	1. 実施計画の細目	企業化計画においてグローバル市場の獲得に関する記載は必須か。	必須ではありませんが、グローバル市場の獲得も目指す場合には記載してください。
	7-1	4. 研究開発体制等	助成先の委託先からの大学や企業への再委託は可能か。	助成事業における再委託は認めておりません。
	7-2	4. 研究開発体制等	事業期間内に参加企業の経営方針の変更等により、本事業への参加継続が難しくなった場合、体制の変更は可能か。	体制の変更は可能ですが、状況によって条件や手続きが変わりますので、具体的にはNEDOにご相談ください。
	7-3	4. 研究開発体制等	複数の提案者でコンソーシアムを組んで、分担して実施することは可能か。	コンソーシアムを組んで、分担して実施することは可能です。共同提案としてご提案ください。
	7-4	4. 研究開発体制等	企業の下に企業が付く体制、すなわち他の企業への委託も可能か。	委託先は企業、大学、研究機関など特に制限はございません。
申請者情報（助成）	8-1	-	法人立ち上げ前のため、記入できない事項がある場合はどうしたらよいのか。	法人立ち上げ状況などを確認しますので、個別にお問い合わせください。
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況	9-1	-	いずれの認定も受けていない場合は提出しなくてよいのか。	認定を受けていない場合には、認定状況に「無し」と記入し提出してください。また、記載は認定状況のみで、関連する取組などの記載は不要です。
主任研究者研究経歴書及び若手研究者（40歳以下）数	10-1	-	共同提案の場合、若手研究者（40歳以下）数は提案者毎に分けて作成するのか。	代表機関が提案者全体をまとめて作成してください（委託先・共同研究先は除く）。